

事務事業名		カメリアホール運営管理事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	0:6: 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間			
	施策名	2:5: 生涯学習の推進						
	基本事業名	0:1: 生涯学習の推進体制・施設の充実			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成11 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入			
根拠法令								
所属	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課						
	係名	中央公民館	電話	26 - 3166	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 05 07 00			
			電話					
			内線	-				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(期間限定複数年度のみ)			
・カメリアホールの運営管理を行う事業。 ・主な業務は、施設設備の維持管理業務(清掃、警備、管理人業務、各種機器の保守点検、修繕)、部屋の貸出業務(受付、使用料の徴収)。 ・主な事業費は、指定管理者への委託費など。					総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
						財源内訳	都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
							事業費計(A)	0
人件費	正規職員従事人数							
	延べ業務時間							
	人件費計(B)	0						
	トータルコスト(A)+(B)	0						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)	施設設備の維持管理、部屋の貸出	ア カメリアホール利用件数	件
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	全市民 カメリアホール	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		カ 人口	人
		キ カメリアホール施設面積	m ²
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安全・快適に学習活動が行なえる。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ カメリアホール利用者数	人
		シ 施設不具合件数	件
		ス 施設不具合対応率	%
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	学習に必要な環境がある。		

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			都道府県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円	1,700	1,800	2,100	2,255	2,000	2,000
			一般財源	千円	10,021	8,487	10,712	9,489	9,900	9,900
		事業費計(A)	千円	11,721	10,287	12,812	11,744	11,900	11,900	
		人件費	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	1,000	800	750	750	700	700	
		人件費計(B)	千円	4,000	3,200	3,000	3,000	2,800	2,800	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	15,721	13,487	15,812	14,744	14,700	14,700	
活動指標			ア	件	2578	2513	2399	2480	2500	2500
			イ							
			ウ							
対象指標			カ	人	43209	42575	42158	41684	-	42000
			キ	m ²	1,222.84	1,222.84	1,222.84	1,222.84	1,222.84	1,222.84
			ク							
成果指標			サ	人	53143	54170	51255	48652	49000	50000
			シ	件	2	4	7	4	5	6
			ス	%	100	100	100	100	100	100

事務事業ID	872	事務事業名	カメリアホール運営管理事業
--------	-----	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成11年、カメリアホールの開館により貸出業務を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・毎年度5万人近くの市民が様々な学習活動等に利用している。 ・設置当初は、警備、清掃等を除き直営、その後は施設管理の一部を民間へ業務委託、さらに地方自治法の改正を契機に、平成18年度からは3年を指定期間として、指定管理者制度を導入した。平成21年度からは施設の利用予約業務を新たに追加して5年を指定期間とした。 ・ブロードバンドコーナーの設置後は、利用者数が大幅に増加した。 ・下水道の供用が開始されたことから、平成19年度に汚水処理方式を合併浄化槽から公共下水道に変更したため、平成20年度には委託料を一部減額した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 盛駅の近くにあり、利用性が高いと好評を得ている。	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 施設設備を適切に維持管理することにより、市民が安全に利用することができ、快適な学習環境の提供に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 市民への学習環境の提供の面から市の関与は妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 市民と施設を対象としており適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 毎年の利用者数はほぼ5万人前後と非常に利用が高く、各部屋の空き状況が無いことが多い。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 適切な維持管理をしなければ、施設の老朽化が進み利用者の安全を確保できず、安全快適な学習活動が出来ない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ カメリアホールは生涯学習の拠点施設であり、他施設との連携は図れない。また適切な維持管理をしなければ、施設の老朽化が進み、安全快適な学習活動が出来ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 維持管理は指定管理者が行っているが、指定管理費の削減が可能であれば余地はある
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 維持管理をすでに指定管理者に代行させたのでこれ以上の削減の余地はない
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 施設については、利用規約に反しない限りどの団体、個人にも施設が空いていれば当日申込でも使用させているので公平・公正である。

事務事業ID	872	事務事業名	カメリアホール運営管理事業
--------	-----	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成18年4月から指定管理者制度導入により経費は削減されているが、修繕が少なからず発生しているため、日常の施設・設備の点検を行い、不具合の早期発見と早期対処に努める。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 平成18年4月よりカメリアホールの維持管理については、指定管理者制度を導入し3年契約で委託を行い経費を削減しており、委託料は平成20年度までは年々削減されている。平成21年度からは、5年を指定期間とする指定管理を実施する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 ・修繕が少なからず発生しているため、日常の施設・設備の点検をに行い、不具合の早期発見と早期対処に努める。 ・平成20年度には、開館後の通算入館者数50万人を達成した。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input checked="" type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務事業執行がなされている。経費削減を指定管理料の減額に求めるのは適正を欠く指定管理に至る恐れがあり妥当ではない。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事務事業を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
